


平成 3 0 年度 起工第 3 1 8 号

宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
	表紙	
E－01	電機設備特記仕様書	S=NOT
E－02	全体配置図及び附近見取図	S=1:600
E－03	高圧単線系統図(改修前及び改修後)	S=NOT
E－04	B1階 電気室平面図(改修前)	S=1:300
E－05	B1階 電気室平面図(改修後)	S=1:30
E－06	B1階 電気室 機器図(1) 改修前・改修後	S=1:20
E－07	B1階 電気室 機器図(2) 改修前・改修後	S=1:20
E－08	仮設工事	S=1:600

宗像市 都市建築部 建築課

	 北九州設計有限公司			平成 3 0 年度	起工 第 3 1 8 号			
				宗像市 都市建築部 建築課				
	宗像市 江口 1 2 7 9 番地			工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)			図面No.	
				図面名称 図面リスト			年月日	H 3 0 . 0 3

宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)設計図

仕様書

・工事概要

宗像ユリックス電気室キュービクルの更新

1. 工事場所

福岡県宗像市久原400番地

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	備考
宗像ユリックス	RC	2階建て(地下1階・塔屋2階)	17,364.98	1階(D)	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記)

3. 工事項目( 印のついたものを適用する )

建築物及び屋外	工 事 種 別				
工 事 種 目	本館				屋 外
・電灯設備					
・動力設備					
・電熱設備					
・警備設備					
○ 受変電設備	更新	一式			
○ 静止形電源設備					
・発電設備					
○ 蓄電池設備	一部更新(鉛電池)				
・構内情報通信設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
・テレビ共用受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入室安全管理設備					
・時計設備					
・自動火災感知設備					
・防災無線用配管設備					
・警備運営システム設備					
・構内配電線路(高低引込)					
・構内通信線路					
・テレビ放送障害防除設備					
○ 撤去工事	一式				一式
・空調設備(冷温水ポンプ)					
○ 仮設工事	一式				

・工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成28年版)」(以下、「標準仕様書」という。 )、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成28年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。 )及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成28年版)」(以下、「標準図」という。 )による。  
また、標準仕様書等の年度については、工事の際の最新年度を適用すること。

2. 特記仕様

1) 項目は番号に 印の付いたものを適用する。  
2) 特記事項において選択する事項は、 印の付いたものを適用する。

項 目

特 記 事 項

1 グリーン購入法

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく特定調達品目「公共工事」の品目  
・照明制御システム  
・変圧器  
照明制御装置は、社団法人日本照明工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」による総合省エネルギー率33%以上であることを確認する。

② 機材等

1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書(「設備機材等選定表」を含む。 )に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。  
2) 化学物質を放散する建築材料等  
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。  
(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
(3) 接着剤はフタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシルを含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを行い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

③ 機材の品質・性能証明

④ 電源周波数

⑤ 電気工作物の種類

⑥ 電気保安技術者

⑦ 電気工事士

⑧ 工事用仮設

工事用電力

工事用水・その他

⑨ 仮設事務所

⑩ 工事用仮設物

11 足場、さん機類

⑫ 工事写真・完成図等

⑬ 発生材の処理

14 残土処理

⑮ 耐震施工

⑯ 電線本数管理など

17 呼び線

18 金属製電線管の塗装

19 蛍光灯器具

20 非常用の照明装置の照度測定箇所数

21 電磁開閉器用押しボタン

22 コンセント

23 ハイテンションアウトレット

24 フロアベース

25 プレートの材質

26 ローテンションアウトレット

27 保安器用地

28 地中線の埋設様

29 天井仕上り表示

30 接地極

改修工事項目と施工時の注意点

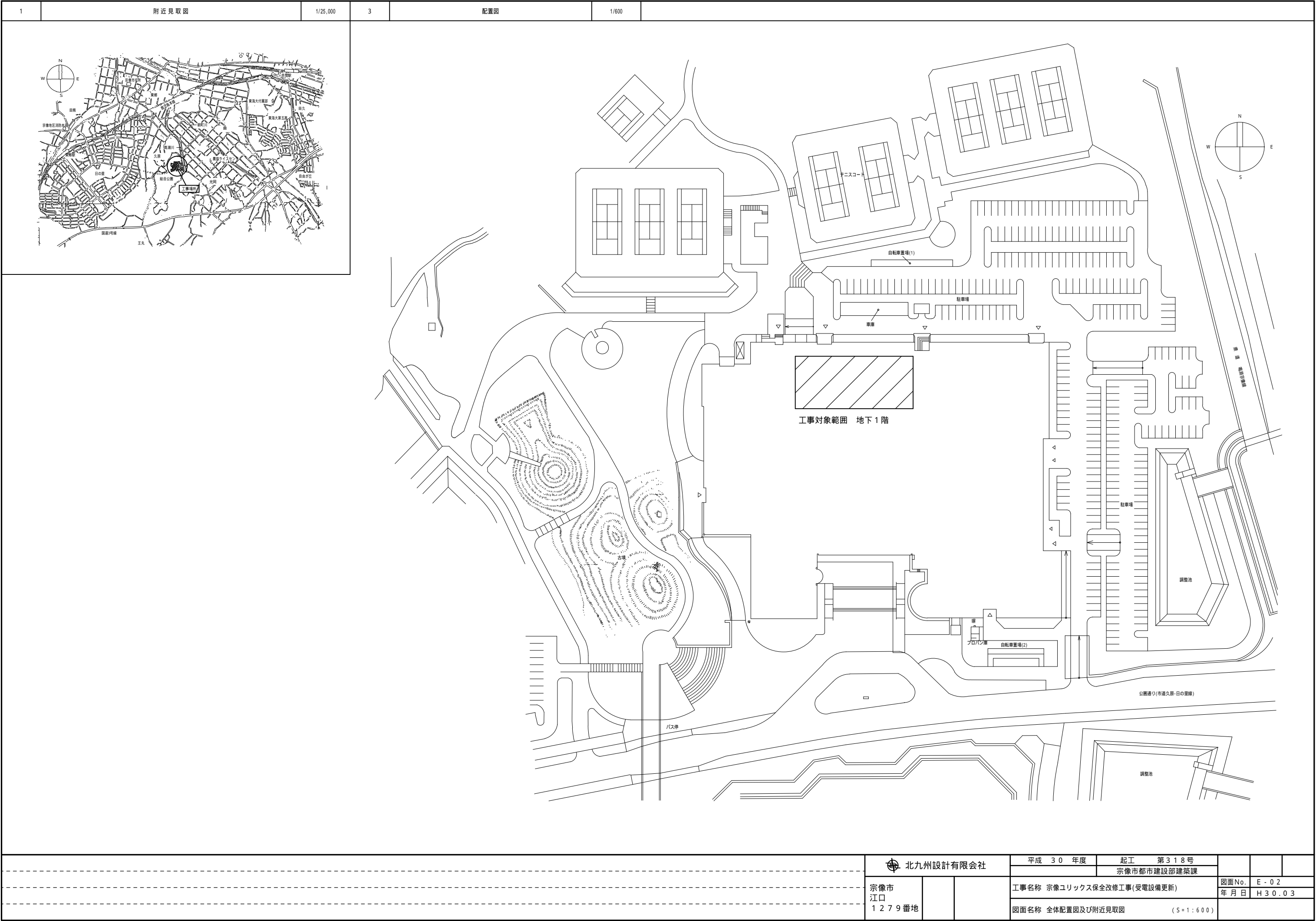
[改修工事項目]  
受変電設備更新

(改修工事における注意事項)  
1. 施工条件および留意点  
本工事は、日常の業務に支障の無いよう行う。施工日時の詳細は、施工段階で、監督職員・建築主と協議して決定する。  
a) 建物の入居状態  
日曜日から土曜日: 12月1日~12月28日8:00~17:00は現状の建物機能をなるべく確保し、騒音・臭気等の発生がないこと。施設等については事前に監査会社と打合せを行い監督員に報告すること。  
b) 施工日時  
c) 解体および改修工法等  
仕上・躯体・設備などの解体および改修は低振動・低騒音工法による。また、災害防止・粉塵飛散防止のため適切な仮設工事を行う。  
②. はつり工事前検査  
既存躯体を補修する工事(はつり、貫通工事、アンカー打ち等)を行う場合は、埋設配管の有無を、以下の方針全てを行って確認し、電線、ケーブル類を切断しないようにすること。  
(1) 竣工図による調査  
(2) X線による調査  
(3) 建物管理者からのヒアリング  
③. 既存躯体貫通工事  
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。補修・仕上げまで本工事とする。図示無き貫通補修も本工事に含む。  
④. 調査・調整・協議  
・工事に着手する前に十分に事前調査・現状確認を行い、工事監督者に施工計画書を提出すること。  
・工事計画について、現場係員および関係関連業者と事前に十分に協議・調整を行うこと。  
・本工事において図面に記載されていないものについても事前に現場係員の承諾を得て、現地調査・協議し、必要なものについては、本工事範囲において施工を行うものとする。  
・本工事に関する設備機器は、原状復旧を含め、試験・調整・施工を行うものとする。  
⑤. 図面の用語  
改修: 取替、更新、改造等を含む一連の工事を言う。  
取替: 既設を撤去し、同じ大きさで同仕様ものを新設すること。(含む撤去工事)  
更新: 既設を撤去し、既設とほぼ同規模、同仕様であるが、何らかの改造、変更を行ったものを新設すること。(含む撤去工事)  
改造: 既設のものを改造すること。  
脱着: 既設のものを取り外し、清掃した上で再取り付けを行うこと。  
移設: 既設のものを取り外し、他の場所に設置すること。(含む取り外し・清掃・取り付け)  
新設: 新設すること。  
既設: 既設のものをそのまま再使用すること。(工事は、発生しない)  
撤去: 既設を撤去すること。  
⑥. 撤去  
盤類・配管・配線を撤去する場合は、現地調査を充分行い、本来停電しない機器、配管、配線を誤って、停電させないように行うこと。

31 取得高さ

壁付、壁掛形の機器等の取得高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

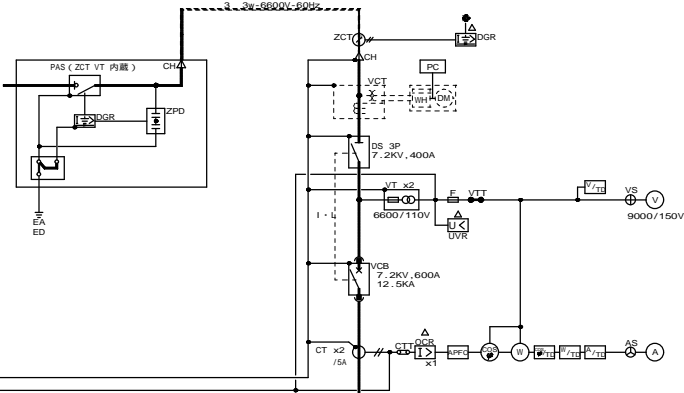
名 称	測 点	取得高[mm]
ブラケット(一般)	床面・中心	2,100
＊(踊場)	＊	2,500
＊(廊上)	廊上端・中心	150
避難口誘導灯	床面・下端	1,500 以上
廊下通路誘導灯	床面・上端	1,000 以下
スイッチ(一般)	床面・中心	1,300
＊(身体障害者用)	＊	1,100
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般)	＊	300
＊(和室)	＊	150
＊(台上)	台上・中心	150
コンセント(車庫)	床面・中心	800
引込開閉器箱(低圧)	床面・中心	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床面・中心	1,500 (上端1,900以下)



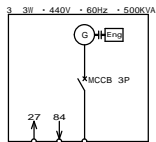
北九州設計有限公司		平成 30 年度	起工 第 318 号			
宗像市 江口 1279 番地		宗像市都市建設部建築課		図面 No.	E - 02	
		工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)		年月日	H30.03	
		図面名称 全体配置図及び附近見取図 (S=1:600)				

凡 例

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
PAS	気中負荷開閉器		W H	電 力 量 計	
C H	ケ - ブルヘッド		V S	電圧計切替スイッチ	
VCT	計器用変圧変流器		A S	電流計切替スイッチ	
D S	断 路 器		/TD	変 換 器	
P F	電力ヒュ - ズ		DGR	方向地絡継電器	
LA	避雷器		OCR	過電流継電器	
VCB	真空遮断器		UVR	不足電圧継電器	
VMC	高圧真空接触器		APFC	自動力率制御装置	
LBS	高圧気中負荷開閉器		LGR	低圧地絡継電器	
C T	計器用変流器		T H	サ - マルリレ -	
V T	計器用変圧器		t °	ダイヤル温度計	
ZCT	零相変流器		T	変 圧 器	
CTT	電流試験用端子		C	進相コンデンサ	
VTT	電圧試験用端子		S R	直列リアクトル	
V	電 圧 計		ZPD	零相電圧検出コンデンサ	
A	電 流 計		MCCB	配線用遮断器	
W	電 力 計		MC-DT	双投形電磁接触器	
COS f	力 率 計				

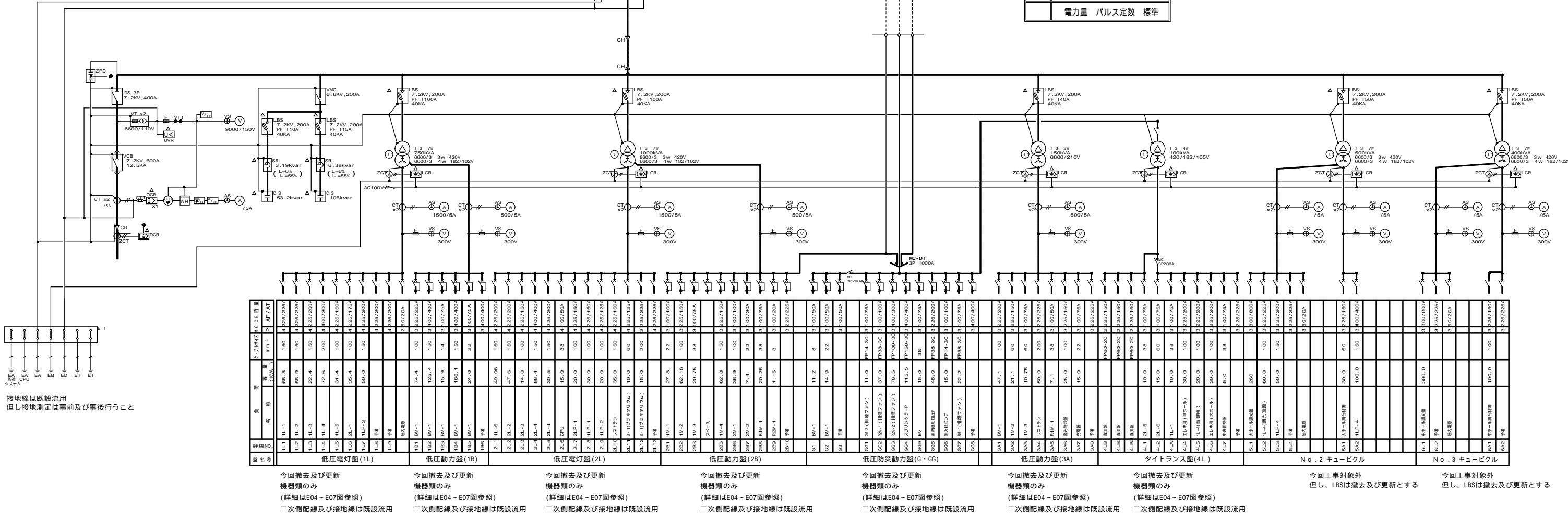


今回工事対象外  
但し非常時は起動すること



記号	中央監視盤対応
	操 作
	状態表示
	警報表示
	計 測 ( 4 ~ 20mA )
	電力量 バルス定数 標準

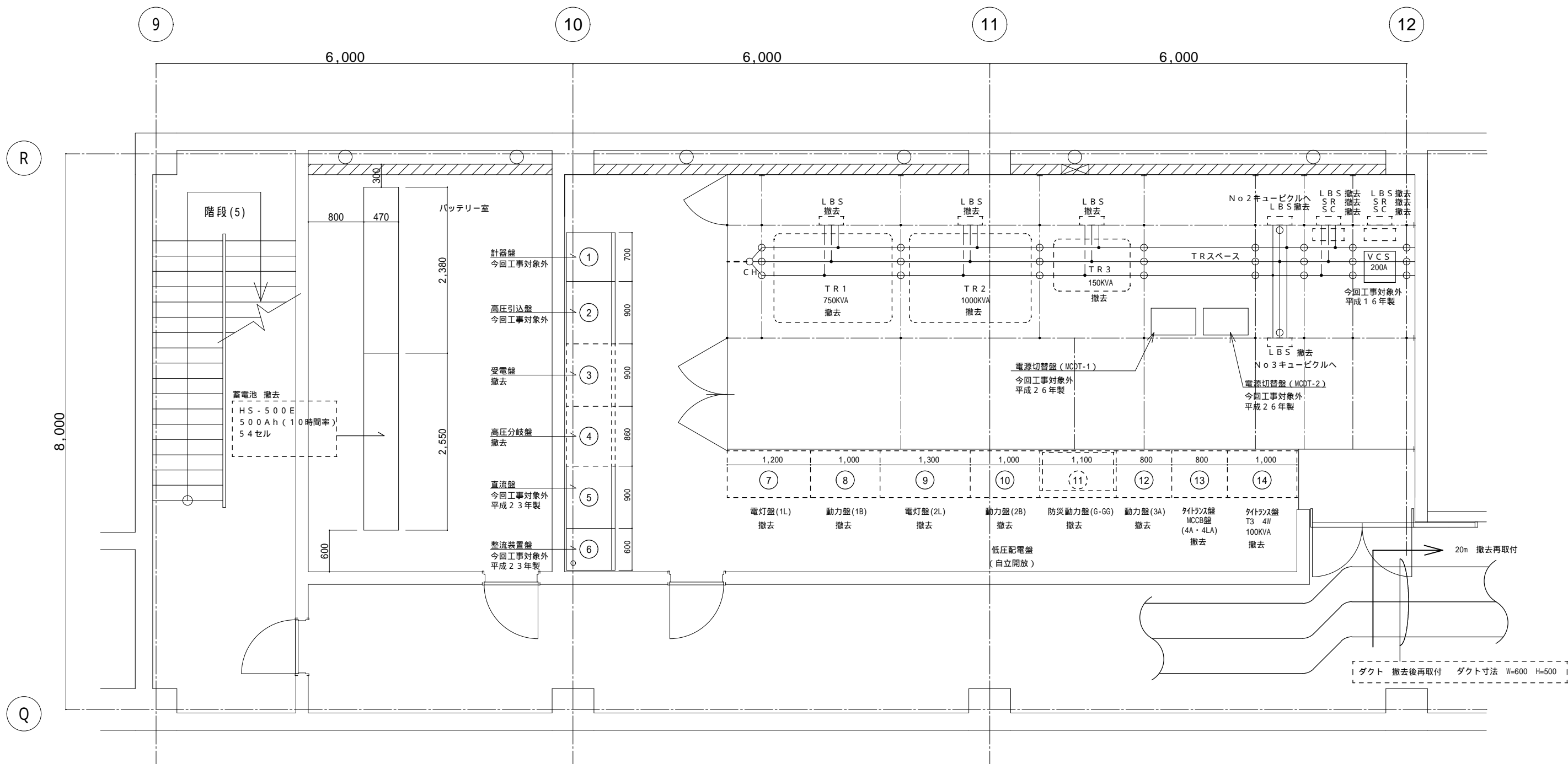
注：計測は中央監視と取り合いを行うこと。



注：MC B 背面にNPを取付


高圧単線系統図 改修前及び改修後

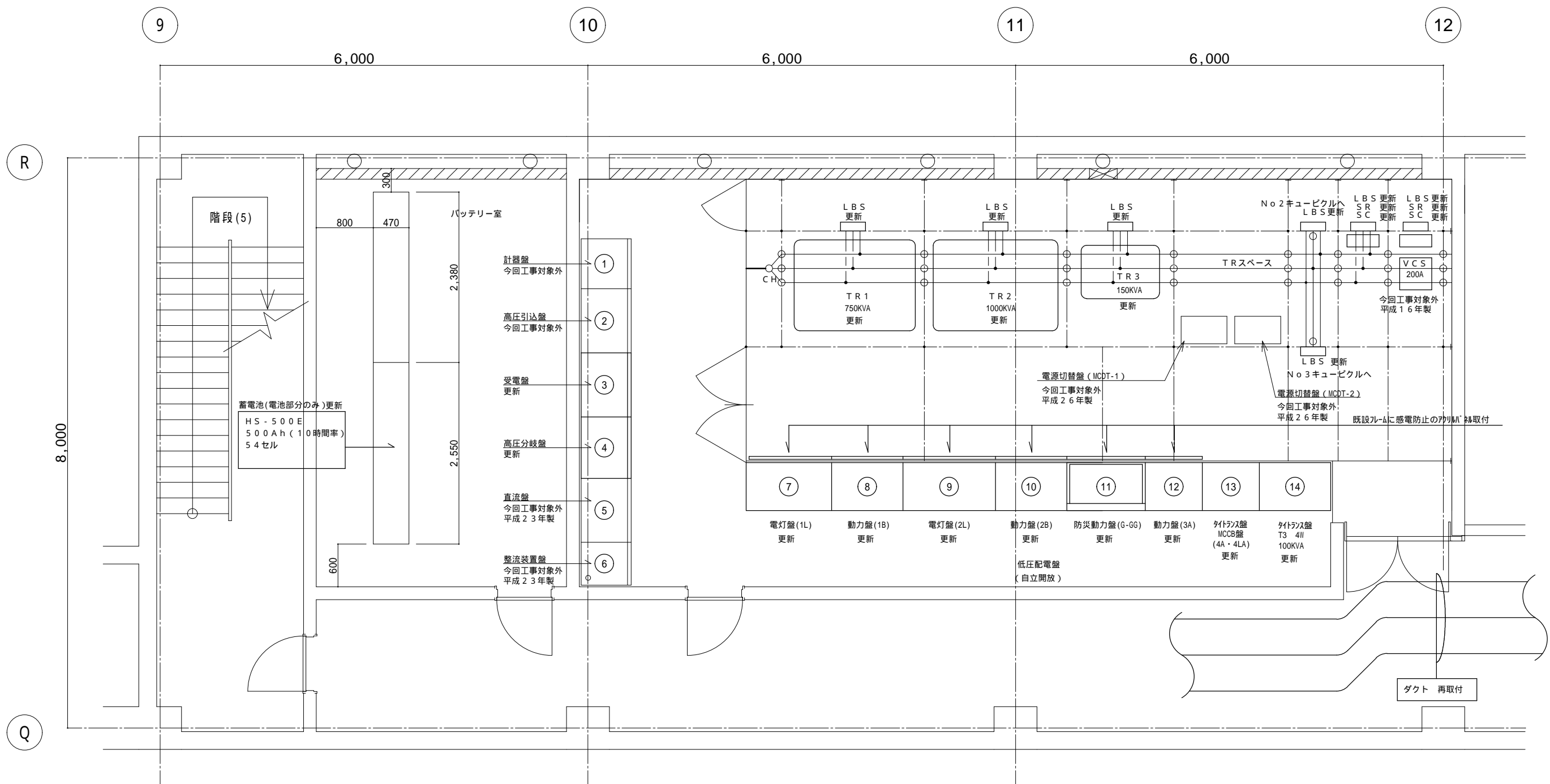
北九州設計有限公司				平成 3 0 年 度	起 工 第 3 1 8 号		
宗像市 江口 1 2 7 9 番地				宗像市都市建設部建築課		図面No. E - 0 3	
				工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)		年 月 日 H 3 0 . 0 3	
				図面名称 高圧単線系統図 ( 改修前及び改修後 )			



B 1 階電気室平面図 (改修前) S = 1 : 30

図中 ① - ⑭ については機器図(1)(2)を参照とする。  
今回工事対象の内容については事前に監督員等と打合せを行うこと。  
今回工事においてフレーム・銅バー(一部)等は既設流用とする。

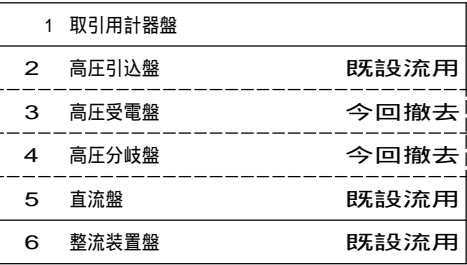
	 北九州設計有限公司			平成 30 年度	起工 第 318 号			
				宗像市都市建設部建築課				
				工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)		図面No.	E - 04	
				図面名称 B 1 階 電気室平面図(改修前)		年月日	H30.03	
宗像市 江口 1279番地								



B 1 階電気室平面図（改修後） S = 1 : 30

図中 ① - ⑭ については機器図(1)(2)を参照とする  
今回工事において取替の機器類及び変圧器の寸法についてはメーカー標準寸法とする。

				北九州設計有限公司	平成 30 年度	起工 第 318 号			
					宗像市都市建設部建築課				
				宗像市 江口 1 2 7 9 番地	工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)		図面No.	E - 0 5	
					図面名称 B 1 階 電気室平面図(改修後)		年月日	H 3 0 . 0 3	



側面図

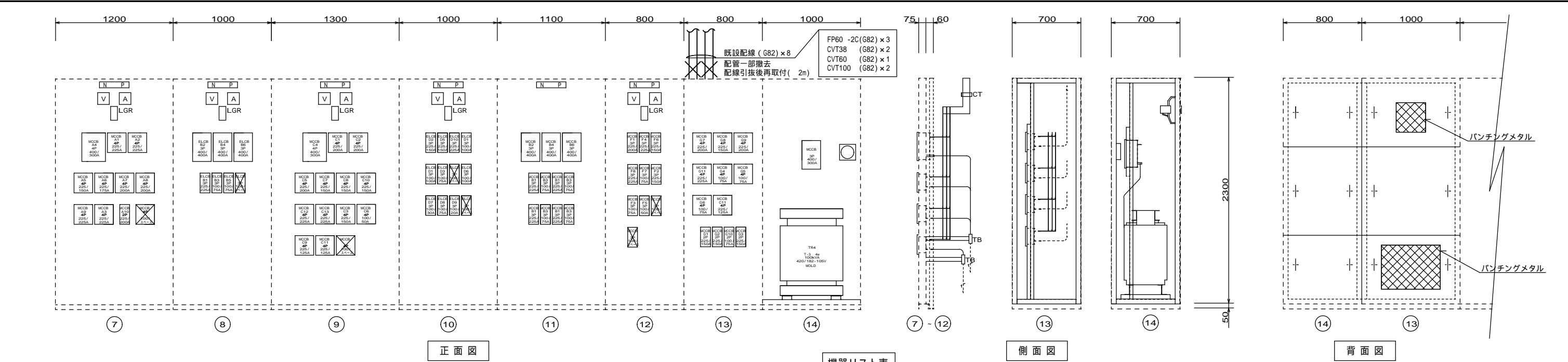
改修前



側面図

改修後

図中の寸法は参考とする



正面図

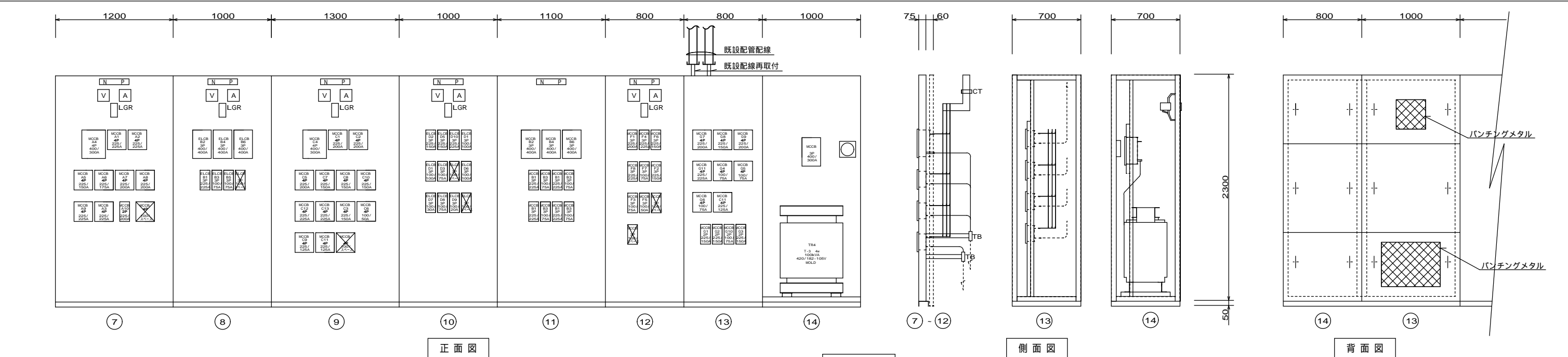
側面図

背面図

機器リスト表

⑦	低圧電灯盤 (1L)	今回撤去	⑪	低圧防災動力盤 (G-GG)	今回撤去
⑧	低圧動力盤 (1B)	今回撤去	⑫	低圧動力盤 (3A)	今回撤去
⑨	低圧電灯盤 (2L)	今回撤去	⑬	タイトランスMCCB盤 (4L・4LA)	今回撤去
⑩	低圧動力盤 (2B)	今回撤去	⑭	タイトランス盤 (T 3 4w 100kVA)	今回撤去

改修前



正面図

側面図

背面図

機器リスト表

⑦	低圧電灯盤 (1L)	今回更新	⑪	低圧防災動力盤 (G-GG)	今回更新
⑧	低圧動力盤 (1B)	今回更新	⑫	低圧動力盤 (3A)	今回更新
⑨	低圧電灯盤 (2L)	今回更新	⑬	タイトランスMCCB盤 (4L・4LA)	今回更新
⑩	低圧動力盤 (2B)	今回更新	⑭	タイトランス盤 (T 3 4w 100kVA)	今回更新

改修後

図中の寸法は参考とする

	北九州設計有限会社			平成 30 年度	起工 第 318 号			
				宗像市都市建設部建築課				
	宗像市 江口 1279 番地			工事名称 宗像ユリックス保全改修工事(受電設備更新)		図面No.	E - 07	
						年 月 日	H30.03	
				図面名称 B1階 電気室 機器図(2) 改修前・改修後				



